



## 映画雑感 19

柴生田 晴四

(経済倶楽部理事長)

▼「TANG TANG」は英国の人氣SF小説を、二宮和也主演で映画化。若者向けの恋愛映画を撮ってきた三木孝浩監督が、生きる氣力をなくした青年の再生を小氣味よく演出。二宮がポンコツロボットとのやり取りを楽しし氣に演じ、夫の立ち直りを待つ妻の満島ひかりの颯爽としたたずまいも見事でした。

▼2022年後半に公開された邦画作品から。「サバカン」は80年代の長崎を舞台に、二人の少年のひと夏の冒険が描かれます。小学五年生の久田は、貧しい同級生のみすぼらしい家を唯一人嘲笑しなかったことから、その少年竹本からイルカを見に行く冒険旅行に誘われます。様々なトラブルに遭遇しながら友情を育んでいく二人。朴訥な演出が少年たちのみずみずしい青春の輝きを映し出します。

▼「さかなのこ」は人氣タレントさかなクンの自伝的エッセイを沖田修一監督がのんを主役に迎えて映画化。ひたすら魚を愛する主人公の自由な生きざまはがんじがらめにされた現代人へのアンチテーゼといえます。性別を超越したのんの突き抜けた演技が光ります。

▼「LOVE LIFE」は「淵に立つ」の深田晃司監督が、矢野顯子の同名楽曲をモチーフに、

「愛と人生」に向き合う夫婦を描きます。ある日、夫婦は悲しい出来事に襲われ、悲しみに沈む妻の前に、失踪した前夫が戻ってきました。本当の気持ちや人生の選択に揺れる主人公を木村文乃が好演。

▼「川っぺりムコリッタ」は「かもめ食堂」の荻上直子監督が自身の小説を自ら映画化。刑務所帰りの孤独な青年が勤め先の人たちやアパートの住人たちとの交流を通してまっとうに生きるすべを学んでいきます。松山ケンイチが不器用で寡黙な青年を好演。やかましく図図しいムロツヨシもはまり役でした。

▼「窓辺にて」は今泉力哉監督がオリジナル脚本で撮った辛口のラブストーリー。フリーライターの市川は、編集者である妻が担当し

ている若手人氣作家と浮氣していることに気づいていたが、それを妻に言い出せない。そんなある日、文学賞の授賞式で高校生作家に出会い、彼女の受賞作の内容に惹かれ、その小説にモデルがいるのなら会わせてほしいと話す主人公役の稲垣吾郎の自在な演技が難解なドラマを成立させています。

▼「マイ・ブローカーン・マリコ」は平庫ワカの名コミックをタナダユキ監督が映画化。鬱屈した日々を送っていたトモヨは、親友のマリコの死をテレビのニュースで知り、幼いころから父親から虐待されていた親友の魂を救うため、父親のもとから遺骨を強奪し逃亡します。永野芽郁が持ち前の明るいキャラを消して新境地を開く旅に出ます。